



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 8. 17(水)
No. 17
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

前期後半のスタートに向けて規則正しい生活を！

夏休みも残りあと1週間になりました。各ご家庭で子どもたちは元気に過ごすことができているでしょうか。今のところ、大きな事故等の連絡がなく、大変うれしく思っているところです。残りの夏休みも充実した生活を送り、いい思い出をたくさんつくっていただけたらと思います。

特にこれからの1週間は、8月25日（木）の前期後半のスタートがスムーズにきれるように、早寝・早起きや朝ごはんをとることなど、規則正しい生活のリズムを取り戻すようご指導をお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止については、発熱等の風邪症状がある場合には登校しないことなど、引き続きご協力をよろしくお願いします。

8月20日（土）PTA愛校作業…大変お世話になります！

8月20日（土）午前6時30分から、PTA愛校作業が行われます。前期後半の授業開始前に環境を美しくして、子どもたちを迎えられたらと思います。早朝からの作業になり大変申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。けがや熱中症にはくれぐれも気をつけていただけたらと思います。

なお、荒天の場合は中止になります。中止の場合は、午前5時30分以降に学校安心メールで連絡があります。

図書の寄贈をいただきました

夏休み中に、グリーンコープ生協くまもと西地域本部から、太陽光発電事業の収益金の一部から地域に還元する取組として、13冊の図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。



☆校長室から独り言14☆

どの「みる」で子どもをみていますか？

私たちは、日常生活の中で、いつもと変わらない見慣れた風景を特にしっかり「みる」ということはしないと思います。例えば、通勤途中の道路で、このカーブを曲がるとその先に大きな木があるということはわかっていますが、その木の種類は何なのか、木の幹の色はどうか、葉の形はどうかなど、特に意識をしない限り、しっかりと「みる」ということはありません。しかし、しっかりとみるために、「みる視点」を持つと、これまで見えなかったものがみえてきます。木であれば、「幹の色」「葉の形」「実の大きさ」などの「みる視点」を持つことで、普段みようとしなかったことがみえてきます。そして、どのように「木をみつめるか」によって、「木をみつめる感覚」が磨かれていきます。

これは、子育ても同じだと私は思います。日頃みようとしなかった子どものよさを多面的にみてみると、新たな気づきや新たな成長がみえてきます。「みる」には、「見る」「観る」「視る」「診る」「看る」など数多くの漢字があります。どの「みる」かによっても、捉え方が違ってくると思います。

保護者の皆さんは、どの「みる」でお子さんをみておられるでしょうか。私たち教師も、教育の出発点である児童理解のために、子どもを「みる視点」を大切にしていきたいと思います。